

ハリーン通信 Vol.11

目次

兵庫県北播磨県民局県民生活室環境課

🌱 ごみ2割減量北はりま大作戦 . . . P. 2

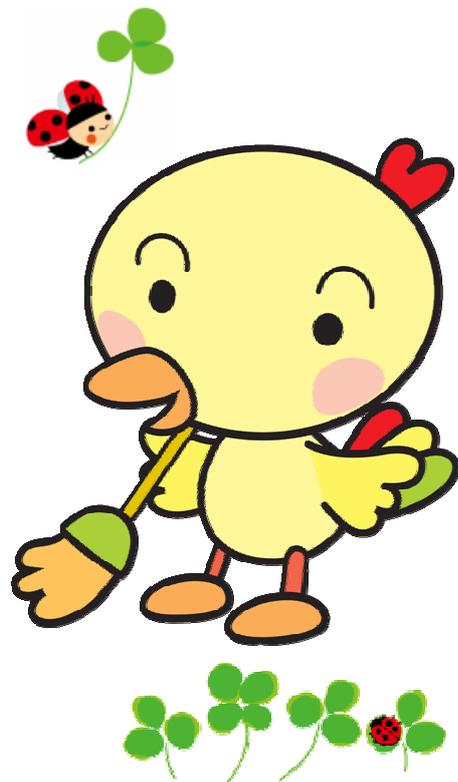
🌱 不法投棄はゆるさへんで！！

🌱 地球と財布にやさしい
エコドライブを始めましょう！
. . . P. 3

🌱 平成23年度 森・川・海 環境学習を
実施しました！

🌱 エコフェスティバルを開催しました！
. . . P. 4

🌱 環境学習情報専門員だより . . . P. 5



寄稿



💧 環境保全と健康野菜づくりで町づくり支援活動

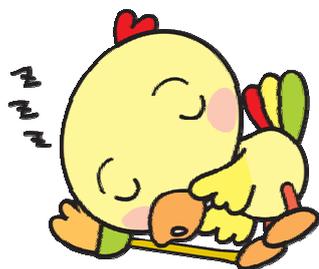
西脇市大木町「太陽の会」代表 玉田 毅 . . . P. 6

💧 自然と遊ぶ森のようちえん

森のようちえん にじの子 笹倉 祐子 . . . P. 7

お知らせ

🐞 太陽光発電等の導入をお考えの皆様へ . . . P. 8



平成24年3月31日発行

兵庫県北播磨県民局県民生活室環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111 (代表) FAX: 0795-42-7535

H P: http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿や寄稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！ ぜひ、事務局までお寄せください！



ごみ2割減量北はりま大作戦

平成24年度も引き続き、ごみの減量に取り組んでいきます！



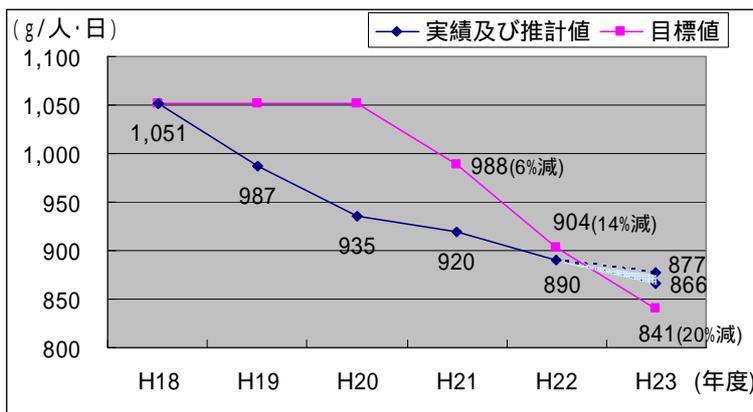
平成 21 年度から取り組んできた「ごみ 2 割減量北はりま大作戦」は、今年度、目標年度を迎えました。

これまで、「ごみ 2 割減量北はりま大作戦推進会議」(会長：福田光完・兵庫教育大学副学長)において、ごみ減量を進めるための施策を話し合い、セミナーやフォーラムの開催、ごみ減量・資源化モデル事業所の指定、事業系ごみ減量の手引きの作成、各種イベント等でのパネル展示などの啓発に取り組んできました。



セミナーやフォーラムには、たくさんの方々にご参加いただき、ごみ減量の必要性・重要性を再認識するとともに、実践的な減量方法などを学んでいただけたと思います。

また、ごみ減量・資源化モデル事業所の取組や、事業系ごみ減量の手引きを参考に、よりいっそう熱心にごみの削減に取り組み始めた事業者もいらっしゃると思います。



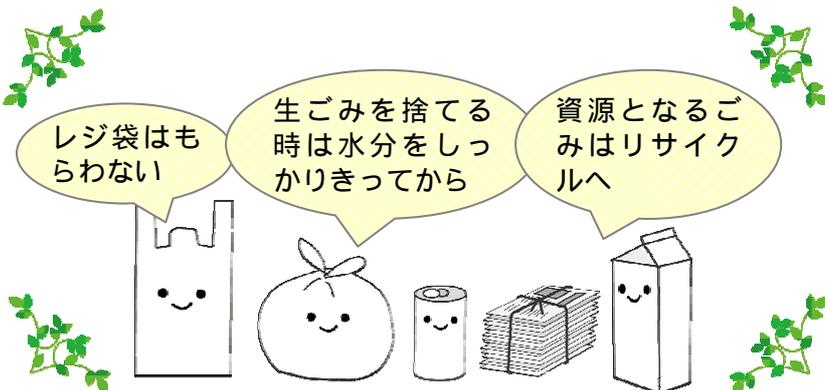
北播磨地域 1 人 1 日当たりのごみ排出量の推移

こうした取組により、北播磨地域のごみ排出量は着実に減少しています。

ごみ排出量のデータは、1 年遅れでの公表となるため、平成 23 年度の実績が判明するのは来年になりますが、現在の推計値では、866 ~ 877 g と見込まれ、目標まであと一歩となりそうです。

そのため、平成 24 年度も引き続き、みなさんと一緒にごみの減量・リサイクルに努め、目標に対する進捗状況を把握することによって、環境と調和した循環型社会の実現と美しい北播磨づくりを進めていきたいと思ひます。

目標達成に向け、みなさんもできることからご協力をお願いします！



ごみ 2 割減量北はりま大作戦

北播磨地域の 1 人 1 日当たりのごみ排出量を、平成 21 ~ 23 年度の間に対 18 年度比で 2 割以上削減するとともに、県内の 1 人 1 日当たりのごみ排出量ランキング(ごみ排出量の少ない順位)で管内の 6 市町が 1 ~ 10 位の間にランクインする。



不法投棄はゆるさへんで！！

北播磨県民局では、自主的に監視活動などの不法投棄未然防止に取り組んでいる自治会を「不法投棄未然防止モデル地区」に指定（平成 24 年 3 月現在 64 地区）しています。今回は、平成 19 年 6 月にこのモデル地区に指定された加西市畑町の取り組みをご紹介します。

畑町では毎年 5 月 5 日を町内クリーンキャンペーンの日と決め、町内各戸から一人ずつ 200 人が参加して清掃活動を行っています。小学生を中心とした子供たちも多数参加しており、町内の世代間交流行事の一つともなっています。畑町の区長さんは「清掃活動を通じて、子供たちが不法投棄の実態を知り、『不法投棄は許さへん！』という意識を持つきっかけになることを願って、今後も活動を継続していきます。」とおっしゃっています。

北播磨県民局では、随時モデル地区の指定を受け付け、不法投棄禁止の立て看板やブルゾン、帽子、ステッカーなどを配布し、その活動を支援しています。



【町内クリーンキャンペーン】



【立て看板】

[お問い合わせ] 北播磨県民局県民生活室環境課 ☎ 0 7 9 5 - 4 2 - 5 1 1 1 (代表)



地球 と 財布 にやさしい エコドライブ を始めましょう！



自動車から排出される窒素酸化物や粒子状物質等による大気汚染や CO₂ 等による地球温暖化は、深刻な状況となっており、私たちの生活環境に大きな影響を与えています。

自動車の利用頻度が高い北播磨地域。エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)は誰でも簡単にできる環境にやさしいドライブマナーです。一人ひとりのドライバーの心がけで、地球環境を守りましょう。



北播磨県民局では、エコドライブ推進月間である 11 月に東播自動車教習所の協力を得て、エコドライブ教室を開催しました。

当日は、午前と午後の 2 回実施、合計 30 名が参加しました。講習の結果、午前の部では平均 9.9%、午後の部では平均 17.2%も燃費が改善しました。なかには、31.8%も燃費が向上した参加者もいました。これは、年間 1 万 km 走行した場合、292.56 リットルの燃料と 678.73 kg の CO₂ を削減でき、杉の木を 48.5 本植えたことと同じ効果があります。

《エコドライブ 10 のすすめ》

- ふんわりアクセル(やさしい発進)
- 加減速の少ない運転
- 早めのアクセルオフ
- エアコンの使用を控えめに
- アイドリングストップ
- 暖機運転は適切に
- 道路交通情報の活用
- タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 不要な荷物は積まずに走行
- 渋滞をまねく違法駐車をしない

森・川・海 環境学習を実施しました!



「いきものの多様性の保全」をテーマに、加古川中流域における川やため池、里山をフィールドとして、三木自然愛好研究会の方々を講師に迎え、親子で自然とふれあう体験型環境学習を実施しました。

ため池の学習

平成23年10月2日(日)に、三木市の増田ふるさと公園で、ため池の学習を実施しました。約70名が参加し、多様な生態系の現状と回復について学びました。子ども達はため池で泥んこになりながら、メダカやドジョウなどのたくさんの生き物を採取し、講師の先生から特徴などについて詳しく話を聞きました。また、アメリカザリガニなどの外来種が在来種の生息を脅かしていることを知りました。



里山の学習

平成23年11月19日(土)に、三木総合防災公園で、里山の学習を実施しました。雨の中、親子約30名が参加し、子ども達はカッパを着て周辺探索しながら、色々な種類のキノコを集めました。『キノコは森を育てている。なくてはならないもの』で、枯れた木を腐らせて土に返す役割があることなど教わりました。また、ナメコの植菌体験もあり、日陰に保管しておくとして1年後には収穫できるそうで、生長が楽しみとなりました。



森・川・海・環境学習事業は平成24年度も引き続き実施します!お楽しみに!!

エコフェスティバルを開催しました!

「北播磨の豊かな自然環境を知る」、「循環型社会を考える」、「地域から地球温暖化防止に取り組む」をテーマに、エコ工作教室や環境クイズ、エコドライブシミュレーター体験など、楽しく環境学習ができる「北播磨エコフェスティバル」を11月6日(日)ガルテン八千代グラウンド(多可町)において、「多可町ふるさと産業展・北播磨じばさん元気市」と同時開催しました。

エコ工作教室

親子で使用済みペットボトルを使ったソーラーカーと、使用済み牛乳パックを使ったソーラーオルゴールの工作を楽しみながら、太陽光発電について学びました。

環境クイズ

「北播磨の自然」「ごみ減量とリサイクル」「地球温暖化防止」の3つのテーマに分けて写真パネル等を展示し、テーマに関連した「環境クイズ」を実施。クイズに挑戦しながら環境への意識を高めることができました。

エコドライブシミュレーター体験

エコドライブシミュレーターを使って、ゲーム感覚で手軽に楽しくエコドライブを体験しました。アクセル操作や燃費を診断して、自分のエコドライブ度を測定しました。





環境学習情報専門員だより

北播磨県民局県民生活室環境課 環境学習情報専門員 笹倉 綾子

兵庫県では平成 22 年度から幼稚園・保育所での環境学習を支援するため、ひょうごグリーンサポーター等を派遣する『ひょうごっこグリーンガーデンサポート事業』を実施しています。

平成 23 年度は 12 カ所の幼稚園・保育所が実施し、園庭や畑での野菜の栽培活動や、職員を対象とした、花の育て方等について学ぶ研修などに幅広く取り組み、充実した活動内容となりました。

～平成 23 年度実施事例の紹介～

事例

実施園 津万保育園（西脇市）
 参加人数 園児 40 名、保育士等 4 名
 実施時期 12 月
 支援者 地域の老人会の方
 場所 保育園近くの畑
 内容 ～大根の収穫体験～



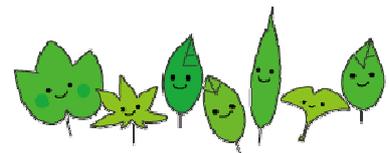
9 月にまいた大根の種が大きく育った様子を観察し、地元老人会の方に収穫の手順を教わりながら、1 人が何本も収穫を体験し、収穫の喜びと醍醐味を味わい、自然環境への愛着心を養った。

先生の感想

園児たちは 4 歳児と 5 歳児であり、様々な体験を得て人間的に大きく成長している。今回の体験は、自然への畏敬の念や、人間にとっての作物の大切さなどを学ぶ大きな機会になった。

事例

実施園 加西市立日吉幼稚園（加西市）
 参加人数 園児 24 名、保護者 18 名、幼稚園教諭等 4 名
 実施時期 11 月
 支援者 ひょうごグリーンサポーター
 場所 加西市立日吉幼稚園
 内容 ～自然物を使ったクラフト教室～



園で採集した自然物(おもちゃかぼちゃ、木の実、木の枝など)を使い、それらを生かした工作を楽しんだ。また、園で栽培したほうき草を使って、「ほうき作り」に取り組んだ。

先生の感想

身近な自然物を利用した工作に興味を持ち、創造性豊かに親子で取り組む姿が見られた。支援者の方には、木の枝に穴を開けてもらうなど、教職員では対応できないところを支援していただき、細かい部分の製作や表現活動にも取り組むことができ、大変有意義だった。身近にある自然物で、こんなに可愛いものができるのかと、保護者の方々も改めて知る良い機会となった。



環境保全と健康野菜づくりで町づくり支援活動

西脇市大木町 「太陽の会」代表 玉田 毅

町内老人会の元気な有志 8 名が、平成 18 年 5 月に、「自分たちでふるさとにお返しをしていこう」と話し合い、郷里にサンサンと光が降り注ぐ町づくりを目指して、『太陽の会』を立ち上げました。

当初は、町の守り神が鎮座されている城山神社の保存と整備に取り組んでいました。現在でも清掃活動、参道の整備、植樹等を行い、4 月中旬には城山まつりが盛大に行われています。また、参道の清掃



と兼ねて、かき集めた落ち葉を利用した堆肥づくりを始めました。その堆肥で、さつまい

も、枝豆、葉ボタン、綿づくりを始め、町民の皆さんに提供し、好評を得るようになりました。

平成 19 年度より、農林水産省による農地・水・環境保全活動事業が実施され、『太陽の会』も大木町の推進委員会に登録されました。

様々な取組で町づくりに貢献し、平均年齢 80 歳の元気なパワーで活動しています。



～主な取組～

町内での庭木剪定材の全量堆肥化、有料販売・・・CO₂削減、環境保全、経済効果
有機堆肥による健康野菜づくり・・・安心安全な野菜づくり、町民の家庭菜園利用
町民参画のコスモ畑づくりの中心的存在・・・地域コミュニティの向上



また、日野地区まちづくりのメンバーとして、小学校で農業体験支援活動に取り組み、5 年生にはお米づくり体験～田植えから収穫まで～、3 年生にはさつまいもづくり～苗の植付けから収穫まで～を支援しています。

11 月 15 日には、生徒たちと収穫祭を行い、取れたたのもち米でもちつき大会や、やきいもづくりを実施しました。児童たちには、収穫の喜びと、農業、食育の大切さを少しでも理解し、社会とのふれあいを通じて、地域を理解してくれればと思っています。

いろいろな催しには、町内や地域の人々、学校関係の方々に協力いただき、感謝しています。





自然と遊ぶ森のようちえん

森のようちえん にじの子 笹倉 祐子

森のようちえんとは？

北欧で「子どもたちに幼い頃から自然とふれあう機会を与え、自然の中でのびのびと遊ばせたい」という願いをもつ1人の母親が、子どもたちと毎日森に出かけたのが始まりといわれています。幼児期の自然体験の積み重ねを大切に考えた幼児教育の場で、晴れの日はもちろん、雨の日も雪の日も、1日のほとんどを野外で過ごします。

にじの子の活動

3歳～就学前の子どもたちが毎日多可町内の森、川、里山などで活動しています。週に1回、野外料理や畑仕事、月に1回、造形の日も設けています。子どもの「やりたい」気持ちを大切に、自然の中で思いっきり遊んで、五感をフルに使って様々なことを経験しています。必要以上に大人は手出し、口出ししません。子どもたちの本来持つ力を信じて見守ります。



畑と野外料理

自分たちで植えて、収穫して、それを野外料理の日にお味噌汁などにさせていただいています。お味噌も手作りで、子どもたちも大好きです！！また季節ごとに田植えや、稲刈り、味噌作り、しいたけの栽培、おもちつきなども行います。



自然の中では、年齢や成長の個人差関係なくその子、その子にあった遊びをすることができます。木登りをしたり、斜面を登ったり、岩山を登ったりして遊ぶことで、自然と丈夫な身体と運動能力を身につけ向上させます。

また、木の枝や落ち葉を何かに見立てて遊んだりすることで想像力を育て、季節の変化を感じ自然の不思議に目を見はる感性を育みます。自分たちで遊びを展開していくことで自主性も生まれます。大人が教えるものではなく、子どもたちが遊びながら獲得していくものこそ、成長の大きな糧になると考えています。



「森のようちえん全国交流フォーラム 2012in 兵庫」

とき：平成24年11月9日（金）10日（土）11日（日）

会場：尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」（兵庫県美方郡香美町）

お問合せ先：尼崎市立美方高原自然の家 TEL：0796-97-3600

西日本初の開催です！

太陽光発電相談指導センターにまずご相談ください!

財団法人ひょうご環境創造協会・太陽光発電相談指導センターでは、太陽光発電設備を導入する様々な場面で、専門の相談員が中立な立場からの確かなアドバイスや情報提供をしています。



太陽光発電に関する情報提供・・・窓口または電話でご相談を受付
太陽光発電設置現地コンサルタント・・・相談員や専門家等を派遣する現地調査を無料実施
地域相談会の実施・・・自治体の環境イベント会場や住宅展示場での導入相談

ホームページ： <http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/center/taiyo/>

住所：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3

神戸クリスタルタワー5階（ひょうごエコプラザ内）

TEL：078-371-6000 FAX：078-371-7750

利用時間：年中無休（年末年始12/29～1/3を除く）9：30～17：30

平成24年度 住宅用太陽光発電設備設置補助・特別融資のお知らせ

住宅用太陽光発電設備設置補助・融資を引き続き実施するとともに、新たに家庭用燃料電池導入のための融資制度ができました。



《補助》

申込窓口：財団法人ひょうご環境創造協会（太陽光発電相談指導センター）

補助対象：自ら居住する県内の既築住宅に 太陽光発電を設置する者

補助額：1kWあたり1万円

対象規模：1kW以上10kW未満

募集期間：H24.4～7月頃を予定

《融資》

申込窓口：取扱金融機関 県ホームページ「補助・融資」のページに掲載予定
（http://web.pref.hyogo.lg.jp/hojo_yushi/life/cate2_105.html）

融資対象：自ら居住する県内の住宅に太陽光発電または家庭用燃料電池を設置する者

融資金利：1%（償還期間を通して固定。金融機関により保証料等の上乗せ有り）

融資期間：10年以内

限度額：それぞれ1施設あたり200万円以内

県内中小企業の皆様には、省エネ・新エネ・自家発電・蓄電池等の設備設置資金に係る融資制度（兵庫県地球環境保全資金融資制度）と利子補給制度があります。

お問合せ先：北播磨県民局 環境課（：0795-42-9377）

ホームページ：<http://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/seisakuka/tikyuyusi.html>

うちエコ診断

各家庭のライフスタイルに応じて、CO₂削減に向けた効果的な対策や節電の取組について個別に提案する「うちエコ診断」を全県的に展開しています。

家庭訪問診断・・・診断員が受診希望者の家庭を訪問し、エアコンや給湯設備等の状況を考慮した詳細な診断を実施。

窓口診断・・・ひょうごエコプラザ（神戸クリスタルタワー5階）窓口において診断を実施。

地域診断・・・県民局や市町などの会議室等において診断を実施。

団体向け診断・・・企業等の団体の会議室等において集団方式で診断を実施。



ぜひご利用ください!

詳細は、財団法人ひょうご環境創造協会HP（<http://www.eco-hyogo.jp/>）